



日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

成田赤十字病院

広報誌

〒286-8523

千葉県成田市飯田町90-1 TEL.0476-22-2311(代)

ホームページ <http://www.naritasekiyuji.jp/>

2011.02

第25号



# ふれあい

## 基本理念・基本方針

### 【基本理念】

赤十字の基本理念に基づき、患者様の権利と医療人としての倫理を守り、医療の質の向上と患者様中心の「こころあたたかい医療」の実践に努めます。

### 【基本方針】

- ① 地域の皆様から信頼される病院を目指します。
- ② 救急医療の充実、安全でより高度な医療の提供に努めます。
- ③ 地域の医療機関との連携強化（病診連携、病病連携）に努めます。
- ④ 国内外の医療救援活動に積極的に参加します。
- ⑤ 健全な経営と働きがいのある病院を目指します。

## 小さな命のためにできること ～パパとママのための赤十字セミナー～



子育てトークショー：(左から)  
きゃんひとみさん、伊藤選手、雨宮さん

乳児への心臓マッサージは  
指で押すんです。

日本赤十字社千葉県支部は、12月5日(日)、「小さな命を守るためにできること  
パパとママのための赤十字セミナー」を開催いたしました。

本セミナーは、千葉ロッテマリーンズとbayfmの協力を得て開催しました。内容は、当院の野口博史医師による子供の症状についての講話、子育てトークショー、実技体験という3部構成で行いました。

子育てトークショーでは、千葉ロッテマリーンズ・伊藤義弘選手がパパ代表として参加しました。子育て真っ最中の伊藤選手は、子どものオムツを替えたり、お風呂に入れたりするという「イクメン」ぶりを披露し、ママ代表として参加したbayfm DJ きゃんひとみさん、雨宮朋絵さんと共に笑顔で会場を盛り上げました。

実技体験では、幼児の誤飲による異物除去や心肺蘇生法の実技体験を盛り込んだ実技講習が行われました。(実技講習の内容は、赤十字が行う“幼児安全法”という講習会で、年間通じて受講できます。詳しくは、日本赤十字社千葉県支部のホームページをご覧ください)

集まった観客は約120人。夫婦での参加も多く見られ、パパ・ママがセミナーに参加している間は、赤十字ボランティアが託児を引き受けました。

日本赤十字社千葉県支部ホームページ：<http://www.chiba.jrc.or.jp/workshop/>



# 一年に一度は健康チェックを！

『みなさ～ん！健康には気をつけていらっしゃいますか？ また、日頃どのような健康管理をされているでしょうか？ **運動、食事管理、禁酒・禁煙、血圧体重測定などを行なって健康をチェックされている方もいらっしゃるでしょう。**』

健康を管理・維持する方法は多種多様、人それぞれですが、医学的に健康をチェックする方法として、『人間ドック』があります。**人間ドックとは、総合的**（身長体重などの身体測定から始まり、視力・聴力・血液検査・胸部レントゲン検査・胃部レントゲン検査・腹部超音波・尿検査・便の潜血検査など）**な健康診断のことです。**

近年、医学は『**治療医学**』から『**予防医学**』への時代へと変わりつつあるとも言われています。

病気になり、体調を崩してから病院へ行くのではなく、人間ドック（健康診断）で、病気を早くみつけ早く治療する！ 病気になる前に指導等を受け未然に病気を防ぐ！これが『**予防医学**』＝『人間ドック（健康診断）』です。

健康を管理する上で、人間ドック（健康診断）はかせないものです。特に、40歳以上の方は、年に一度は人間ドック（健康診断）を受診し、健康のチェックをしていただくことをお勧めします。定期的かつ継続的に検査を受け、結果データを蓄積することが病気の予防、早期発見、早期治療に有効となります。

当健康管理センターでは、皆様方の健康維持と増進を目的に、人間ドック（健康診断）を実施しています。また、人間ドック受診が生活習慣改善のきっかけとなるよう支援を行っています。是非 **年に一度は** 人間ドック（健康診断）を受診してみたいはいかがでしょうか？



成田赤十字病院 健康管理センターは『人間ドック・健診施設機能評価認定施設』です。

受診者の方が安心して、満足して人間ドックを受診していただけるように、第三者機関による施設評価を受けています。

平成23年度末に現認定証の有効期間が終了するため、認定更新を目指しています。



人間ドックという言葉は、第二次世界大戦直前の1938年に、代議士2名が東京大学病院に入院して健康診断を行ったとき『戦艦が航海から帰ってきてドックに入り、船体の検査をするのと同じだ』と表現したことから生まれたものです。

## 成田赤十字病院 健康管理センター

お申込み	電話または直接来院（完全予約制）
電話番号	0476-22-2311
受付時間	午後1時～午後4時（月～金）
実施日	月～金曜日（12/29～1/3、5/1、祝祭日は除く）
料金	2日標準コース：56,700円（自宅通院コース）・64,050円（ホテル宿泊コース） 1日標準コース：44,100円 追加検査：脳ドック26,250円、胃内視鏡検査3,150円（2日ドックのみ）、 乳がん検査4,200円、子宮癌検査5,250円など



ホームページ <http://www.naritasekijyuji.jp/outpatient/005.html>

その他 追加検査はコースにより受診できない場合がございますので、詳細等についてはお問い合わせください



## 戦争では何も解決しない・・・

当院の松寄安容看護師長が、紛争が続くパキスタン北部近郊の都市“ペシャワール”の戦傷外科病院で3月から半年間、負傷した民間人や兵士の治療にあたってきました。人間の生命と尊厳を守るために活動する『赤十字』がなぜ誕生したのか・・・  
松寄師長が戦地という極限状態において感じた、人間が持つ普遍的な“他者を思う心”にその答えがある気がします。

『戦地での活動は今回が初めてでしたが、紛争地の現状を痛感しました。戦争では何も解決しません。』

現地では政府軍と武装勢力の戦闘が激化しています。銃声が響き、戦闘機が空を飛び、自爆テロによってコンクリート片が降ってくる、そんな環境でした。

宗教や民族が入り乱れる紛争地での活動は困難の連続でした。運ばれてくる負傷者の傷はひどく、足を切断しなければならないことも多かったのですが、イスラムの教えで、彼らにとっては「五体満足でいることが絶対」・・・説得しても「聖戦で命を落とせば、もっと良い天国に行ける」と治療を拒み、亡くなってしまう兵士もいました。また、肌を見せることはタブーで、手当をしようとする、大げかにも関わらず診察させてくれないこともありました。宗教への配慮として、宗派によってベッドの配置を変えたり、食事にも気を遣いました。

テントでできた病院には、兵士だけでなく民間人も多く運ばれて来ました。空爆によって水道や電気が止まっているため、綺麗な水などの資源を求めて山間部に入ると、そこで地雷やトラップの犠牲になってしまうのです。資源をめぐる部族間の争いも頻発しています。

苦労や戸惑いはとても多かったです。しかし、最初は治療を拒んだ患者も何日かすると「ヤスエ、ヤスエ。今日は診てくれないのかい」と慕うように話しかけてくれました。「俺はアメリカ兵を殺したんだ」と叫び、リハビリを拒否した少年も、死んだと思っていた父親と再会すると、将来に向けて前向きになり、リハビリを始めるようになりました。家族を大切にするのはみんな同じ。ただ幸せに暮らしたいはずなのに、それができません。

他国のことであっても無関心は良くない。人はみんな一緒です。紛争という極限状態であっても、人と人とのつながりがやりがいでした。

『今後も海外救援活動に従事するつもりでいます。助産師の資格を生かして、紛争地で母子保健を充実させたいとも考えています。』

この言葉のとおり、松寄看護師長は、再び海外へ旅立ちます。

今度は、2月から約2か月間、ハイチ共和国において、コレラに苦しむ人々を救援します。

※ ペシャワール戦傷外科病院

赤十字国際委員会が紛争犠牲者を救援するために開設。テントの中に約120床あり、約220人の医療従事者が治療にあたる。日本赤十字社からは、松寄看護師を含め、6人を派遣している。現地の医療技術向上も病院設置目的のひとつ。

画像 by : Army.mil



診療受付時間 8:30 ~ 11:00 (自動再来受付機による再診受付は7:00から) 但し形成外科は13:30から (平成23年1月1日現在)

診療科目		月	火	水	木	金		
内科	①	初診 再診 (予約)	柳沢孝夫	松尾 哲	脇田 久	松浦康弘	蓮沼桂司	
	②		森尾比呂志	尾世川正明	熊野浩太郎	増田真一	森尾比呂志/平栗雅樹	
	⑤⑥		福田和司	平栗雅樹	尾世川正明	森尾比呂志	熊野/橘	
	⑦		倉本充彦	青墳信之			熊野浩太郎(リウマチ)	
	⑧		志賀 孝		(DM初回)横山/橘	志賀 孝		
	⑨		熊野浩太郎	熊野浩太郎	青墳信之	尾世川正明	増田真一	
	⑩		青墳信之	脇田 久	松浦康弘	脇田 久	脇田 久	
	⑪		加藤慶三	伊能崇税	福田和司	柳沢孝夫	柳沢孝夫(膠原病)	
	⑫		細川淳一		柳沢孝夫	平栗雅樹(喘息)	鹿島 励	木下真子
	⑬			近藤祐介	山田 興	志賀 孝	志賀 孝	(午前)河野/(午後)清水 早川直樹
	⑭		赤畑 徹(DM)	大橋弘文	平栗雅樹(膠原病)	松尾 哲(DM)	赤畑 徹	倉本充彦
	⑮		横山三尚	橘 香穂里	松尾 哲	赤畑 徹	横山三尚	
							消化器初回(午前)	
外科	初診	清水善明	横山航也	近藤英介	西谷 慶	伊藤勝彦		
	再診	小川 清	清水善明	石井隆之	小川 清	近藤英介		
心臓血管外科	初診・再診	休診		(午前)砂澤 徹 (午後・薄斗)飯田浩司	休診	飯田浩司		
						休診		
整形外科	初診	林 浩一・喜多恒次	斉藤正仁・林 浩一	川口佳邦	板橋 孝	小泉 涉		
	再診	小泉 涉	板橋 孝	斉藤正仁・小泉 涉	斉藤正仁・木内 均	板橋 孝・喜多恒次		
小児科	初診・再診		川口佳邦	木内 均	三枝 修	林 浩一		
			三枝 修	三枝 修	三枝 修	三枝 修		
			眞山和徳	野口博史	角南勝介	眞山和徳	眞山和徳	
			角南勝介	五十嵐俊次	野口 靖	植木英憲	五十嵐俊次	
	特殊外来 (要予約)	午後	第1~4(予防接種) 交代制	(乳児健診) 交代制	(内分泌)眞山和徳 (血液)角南勝介	(血液)五十嵐俊次 野口 靖	(新生児)野口博史 (血液)櫻井彩子	
			(新生児)石石悟司		(内分泌)渡邊智之 (循環器)東京女子医大	(血液)植木英憲 第4(神経)杉田克生	古館和季 第2(神経)杉田克生	
	脳神経外科	初診・再診	柴橋博之	中村道夫	加藤 誠	米山サネキー智子 国保能彦(第3)	柴橋博之	
	産婦人科	産婦人科	初診	田中 圭	上杉健哲	杉田達哉	交代制	小幡新太郎
		産婦人科	再診	交代制	交代制	交代制	交代制	交代制
産婦人科		午前 午後	杉田達哉	小幡新太郎	上杉健哲	田中 圭	坂本建彦 西方紀子	
特殊外来 (要予約)		午後	杉田達哉(不妊) 小幡新太郎(ハイリスク)	塙 真輔(KSP) 田中 圭(腫瘍)	杉田達哉(不妊)	塙 真輔(ハイリスク)	杉田達哉(不妊) 田中 圭(KSP)	
眼科	完全紹介制 紹介患者のみ	初診・再診	渡部美博	交代制	交代制	渡部美博	渡部美博	
			横内裕敬・深見朋末			宇高 靖・深見朋末	宇高 靖・横内裕敬	
耳鼻咽喉科	完全紹介制 紹介患者のみ	初診・再診	根本俊光	佃 朋子	休診	根本俊光	佃 朋子	
			木下 崇	大学医師		木下 崇	木下 崇	
皮膚科	完全紹介制 紹介患者のみ	初診・再診	米山 啓	米山 啓・田島綾子	休診	米山 啓・田島綾子	米山 啓・田島綾子	
			田島綾子	外川(第3)・横内(第2・4)		寄藤(指定)第2・4	真鍋恵津子	
泌尿器科	初診・再診	第1・3・5 高尾昌孝 第2・4 宮内武弥	大木健正	第1・3・5 真鍋恵津子 第2・4 鈴木孝一	大木健正	中町 裕		
		細木 茂	宮内武弥	大木健正	吉田一樹	吉田一樹		
		大木健正	細木 茂	玉城吉得	宮内武弥	大木健正		
神経内科	初診	初診	柊田大生	松本美智子	吉川由利子	岩井雄太	片山 薫	
	再診	片山 薫	吉川由利子	松本美智子	片山 薫	柊田大生		
精神科	初診	初診	斎賀孝久	赤田弘一	松浦暁子	三浦澄子	鎌田 雄	
	再診	再診	赤田弘一	佐藤茂樹	斎賀孝久	佐藤茂樹	赤田弘一	
放射線科	初診・再診	岡田淳一・町田南海男	町田南海男	岡田淳一	磯部公一	町田南海男		
麻酔科	初診・再診	木島正人	藤井りか	休診	江澤里花子	休診		
口腔外科	完全紹介制 紹介患者のみ	初診・再診	林 幸雄	林 幸雄	林 幸雄	林 幸雄	林 幸雄	
			清水文絵	清水文絵	清水文絵	清水文絵	清水文絵	
形成外科	初診・再診 13:30~	初診・再診 13:30~	黒木知明	休診	黒木知明	休診	黒木知明	
			山路佳久		山路佳久		山路佳久	
			大森直子		大森直子		大森直子	
			笹原資太郎		笹原資太郎		笹原資太郎	
呼吸器外科	初診・再診	——	——	——	——	——		

\*内科①~⑮は診察室の番号です。 \*内科・眼科・耳鼻咽喉科・皮膚科・口腔外科の初診は紹介患者のみとなります。 \*都合により担当医が変更になる場合があります。

## 患者様の権利

- 私たちは、患者さまの権利を尊重し、最善の医療の提供に努めます。
1. あなたの尊厳を守ります。
  2. 適切な医療を受ける権利を尊重します。
  3. 診療についての十分な情報、説明を受ける権利を尊重します。
  4. 自分自身の治療について自分で決定する権利を尊重します。
  5. あなたのプライバシーが守られます。

## 患者様に守っていただきたいこと

1. 適切な診療を受けるために、今まで受けた医療の内容や健康状態をスタッフに正確にお知らせください。
2. 診療の内容について十分に説明を受けてください。
3. あなたご自身及び患者様の診療を円滑に行うために、病院の規則等を守るようにお願いします。
4. 医療費の支払いは、速やかをお願いします。